

平成 26 年度 第 2 回四街道市立小中学校学区審議会 会議録

日 時：平成 26 年 7 月 9 日（水）14 時～

場 所：青少年育成センター2階 オープンスペース

出席委員：13 名

（水野会長、久保木副会長、荒井委員、菊地委員、古川委員、清水委員、堀田委員、渡辺委員、長谷委員、橋口委員、坂東委員、梅山委員、田中委員）

欠席委員：2 名（長谷川委員、野本委員）

出席事務局職員：8 名

（高野教育部長、佐久間教育部次長、上野教育総務課長、中嶋学務課長、牛玖教育総務課副主幹、安江学務課主幹、山田学務課指導主事、米村学務課指導主事）

（全体進行 中嶋学務課長）

- ・開会、水野会長挨拶
- ・出席委員確認、資料確認、会議の公開・傍聴人（本日なし）について

（審議進行 水野会長）

今日の審議ですけれども、諮問に対して前回の最後に確認したと思いますが、本日の会議では議員の皆様の見解をまとめて答申案を作成したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。会議の進め方ですが、私どもの方で考えてみたところ、まず1番目、学区編制をするかしないかということをはっきりさせたいと思っております。2番目に、この前の皆様方の審議を聞かせていただきますと、もし学区編制するならばいろいろな変則事項が必要となっておりますが、もし学区編制しないとなったらその話はそれで終わり。するとなったらどんな配慮事項が必要かということをもた話をしていきたいと思っております。3番目に、どの地区を該当地区にするかということを決めたいと思っております。最後に、いつから行うのか。ということ、これを4番目に決めたいと思っております。こういう順序で1番から4番までやっていこうと思っております。よろしくお願い致します。それを基に答申案が出来上がるかと思っております。それではそのように進めさせていただきたいと思っております。

では1番目ですが、学区編制をするかしないか、ということについて線を引きたいと思っております。これまでの話も踏まえて意見があればよろしくお願い致します。

（久保木副会長）

今、学区編制をするかしないか、という話になっているわけですが、もし皆さんの意見で編制しないとなれば、審議は終わりという形になると思っております。もしするとなった時はいろいろな条件が出てきて、それをどのようにクリアしていくか意見を聴いて決を採ると思っております。私の気持ちとしては、するという方向に持って行ってくれないと、今、南小の現状では必ずパンクしますので、このまま放置しておく大変なことになることは皆さん

理解した上で、するかしないかを決めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(水野会長)

何か意見ををお願いします。でないとも多数決を採ることになりますので。

(質問・意見1 清水委員)

これまでの話の流れだと明らかに編制する、という話の流れになっていますが、この期に及んで訊いて、やっぱり編制しないです、という人が多くなった場合は果たしてどうするのか、その案がまったく話し合われていないと思います。編制しないならしないに越したことはない、というのが正直なところですね、その辺どうしますかと訊かれたら、編制しなくていいのならしなくていい、と言いたくなる気がしますが、どうでしょうか。

(久保木副会長)

先程言った通り、編制しないとなったらそれで終わっちゃいます。このまま放置していて本当によければ別に審議しなくていいわけですね。でも現状子どもたち、それから父兄からは「どうなっているの」という声がある。はっきり審議して「こういうことだ」と理解をした上でやっぴりこうとしているわけですから。それはやっぱり何にもしないのが一番楽ですけども、でもそれじゃいけないということでこういう審議を設けているんですから、前向きをお願いします。

(質問・意見2 清水委員)

編制するとなった時に、恐らく地域の方への説明会で「どうして編制することに決まったんですか」という説明をやっぴり求められると思うんですよ。仮に学区審議会でも多数決で決まりましたとなっても、そう返答できないですよ。もし今の話の流れで学区再編することになるのであれば、何を最優先してそうなったのかということ、ちゃんと地域の方に説明できる理由を含めた決め方をしないといけないのかな、という風に思います。恐らく、ここで納得できるような答えを出さないと説明会でも出せないと思います。今話の流れだと、最も有力なのはただ単に教室を増やせばいいという問題ではなくて、特別教室というところ、あとは児童数が増える中での学校の環境が悪化することは児童にとっては良くないであろうというのが2回の話し合いでの皆さんの総意だということで、学区再編がいいのではないかという流れで来ているので、もしそういう理由であるということであれば、それも確認した上ででない、説明会の時にただ「学区再編に学区審議会委員会で決まりました」と言っただけでは、地域の方は全く納得しないと思うので、その辺の理由を含めた審議や決め方ができればいいのかなど。私としてはこの話の流れからすると何人もの方が仰っていた、児童のことを考えたら特別教室も必要であろうと、ただ単に教室をどんどん増やせばいい、特別教室を潰せばいい、というわけではない。そういうことを

考えた時には、やはり今教室が現に空いている八木原小との学区再編というのが、子どもの利益というのを考えたら一番いいのではないかと。そういう理由であれば、まあしょうがないのかな、となる気はします。

(水野会長)

清水さんが言われたようなことが、前回の審議会の流れですけれども、それに対して当然、今仰っていたように、説明会が行われる上では、こうこう、こういうことでそうなったと。南小の子どもが現在よりも倍以上になるんですかね。学校の狭さ、あるいは教室の数の少なさやなくなるという声、そういうことを踏まえて子どもの利益のことを考えると、お互い例えばこれから来る子にとっても、あるいは南小の子どもにとってもこのままいったら苦しい。あるいは窮屈な学校生活を送ることになる。だから編制しました、という風には進んでいくとは思いますが。

(質問・意見3 清水委員)

それは第一に説明しないと、違う憶測が飛び交って、何か裏で違う意図があったんじゃないかと勘繰られる。本当にそれが一番の理由なんだと統一した認識で決めることが説明会に向けて必要では。

(久保木副会長)

学区再編をするとなった時、訂正する部分等いろいろある。それをこれから意見交わして決めていって、皆さん納得した上でまた更にもう一つ決めることを出して、審議しましょう、という方針・流れ方に決めて、それに沿ってきたと思います。だから皆さんの気持ちはある程度出てきて、前回でほとんど決まっていると思うんですよね。今回はその確認の意味で、皆さんどうですかと尋ねた。前はそうだったけど、この場で「いや、やっぱり駄目だったよ」という話もあると思うので、皆さんにはそれを踏まえて委員会として話をしていきたいなと思います。

(水野会長)

今までわざと私の方で確認をしないできたわけですけども、皆様方の意見をとにかく出してもらった方が良さだろうなということで前回までやってもらった。はっきりした言葉で学区編制するかしないかということを今回決めて、この前の会議で清水委員の仰ったように、するという方向が今後のためを考えたらいいんじゃないか、となっていたんですけども、今日ここで確認を取りたいなということで1番目に申し上げたところです。

(質問・意見4 橋口委員)

南小の橋口です。非常に人数が増えて教室が足りないままここまで来ていて、学区編制

をするかしないかということなんですけれども、いろいろな確認を入れたりして行かなければいけないのかな、という風に考えます。該当地区をもう一度確認すると、今いる子どもたちは八木原小に行かない、ということですよね。今度新しく入ってくる一年生、それからどの地区を該当地区にするかまだ決めてないわけなんですけれども、それによって学区編制をするかしないかが大きく変わってくると思います。例えば南小の近くの3丁目を八木原小の方に転入するかどうか。また、いろいろな編制するかしないかの判断が変わってくると思うので、その辺も少しある程度確認をしてから、編制をどういう風にするかという形の方に進んでいただけるとありがたいなと思います。もう一つ確認ですけども、例えば今、教育委員会の方で想定されている八木原小に行く人数、例えば3、4年間で何人くらいが行くと考えているのか、それによって南小学校の学級数がどのくらい減るのか、お聴きしてみたいなと考えております。それによって仮校舎を建てるかどうかといういろいろ出てきますし、ある程度の概略が出た段階で判断して行かないといけないのかなと。

(久保木副会長)

鶏が先か卵が先かと同じなので、まず進め方を検討した上でも、更にどんでん返しもあるよというのを踏まえてほしい。進める時には「どうするばいいの」と引っ掛かる部分があって、それを乗り越えればいろいろな壁を越えていって、いろいろな話合いをしていって、現在の子どもさんたちをどんな風にするのか、それをこれからしっかり決めていって、皆で納得した上で進めていかないと、恐らく何時間経っても話が決まらないと思う。だからその辺をしっかりとまず一歩前へ皆さんで進んでいってほしいと思います。足を踏み入れてほしい。それからいろいろ細かい話を詰めていこうということ、私からはお願いをしているんですけれども、でないと先へ進んでいかない。やる・やらないにかかっているわけですよ。最終的に話の中でずっとやってきて、これは条件的に無理でしょう、となった時またその時考えればいいわけでしょう。まず一歩進んで、するかしないかで意見を取り扱っていただければする方向で意見がまとまれば、次は何をしましょうかという話が出てくる。

(質問・意見5 坂東委員)

前回参加できなかったのですが、議事録等拝見させていただきながら、考えたことがあります。現状で今日判断する、ということであれば、何点か確認していく必要があると思うのです。一点目は、南小がこのままの状態では成立しなくなると、こういう問題があるのですよね。それからもう一つは、受け入れとなるのは八木原小しかない。その八木原小は現状のままで行くという程度しか私は知らない。それでいいのかどうか。そこで初めて次の問題が出てくる。八木原小がどういう受け入れ態勢を取るのか、これが次の問題。基本認識としてその共通理解ですね。イエス、ノーで判断できないですよ。いきなり学区再編しますかしませんかと言われてもなかなか難しい。ですからその確認事項だけ明

確にしていだきたい。教育委員会から提議されたものは、八木原小そのままですよ、南小はパンクしますよ、だから南小の子どもたちをどういう風に移動させるかが問題点としてありましたよ、という認識です。そこら辺をきちっと押さえてから次のステップに入って行かないと、議事録を見ますと、まず八木原小の受け入れ態勢の問題であるとか、いろいろな問題が前回でも挙がっている。それがおそらく今後の、次の問題になる事項だと私は思います。やはりここで一番先に決めておかなければならないのは、八木原のこと。受け入れることが八木原は可能かどうかという問題と、それから南小はもうこのままでは無理だという問題。最低でもこの二点を話し合わなければと審議会にお願いしたい。会長さんその辺どうでしょうか。

(水野会長)

最初の南小の現状は資料で出たように、来年度辺りから普通教室の空きがなくなる状態ですので、特別教室を改修してというような現状。あと2年後には仮設校舎でもって対応していきたいという現状です。そういうところは資料で出ている。教室や校庭の広さ等を考えてみると、南小をこのままの状態ですべてやっていくことはとても難しいというのは、ある程度結論が出ているのでは。八木原小の受け入れ態勢をどうやっていくか、というのは、これは八木原小の先生の判断になってくるとは思いますけれども、現状としては空き教室はあるということ。

(質問・意見6 長谷委員)

八木原小学校の長谷ですが、今学校の現状としまして空き教室、無理に空けるというよりすぐ教室として使えるところが10教室程ありますので、各学年1学級ずつ増えても受け入れ可能と判断いたします。来年度は学級が1学級減、という見通しになっておりますから、更に教室が空くということが予想されます。以上です。

(水野会長)

あと八木原小の校舎の古さ等が、南小の保護者にとっては抵抗感があるということも注意点として挙げていたことについては、教育委員会さんが何か考えているのではないかと、というように思います。

(久保木副会長)

南小にかかる費用を八木原に持っていったらどうか、という話や案も出ている。ここではあくまで案ですが。

(質問・意見7 坂東委員)

そういう前提を想定するにしても、教育委員会で解決されることですね。

(事務局 上野教育総務課長)

今八木原小学校の今後の整備のことでお話がありましたので、私共から説明しようと思
います。市の基本計画に載せてありますのは、平成 29～30 年度にかけて八木原小学校の大
規模改修を予定しています。内容についてはこれからおし進めていくこととなりますけれ
ども、その辺のことは予定をしているということでご理解いただきたいと思
います。

(質問・意見 8 坂東委員)

29 年度の計画であって、わかりませんよね。計画ですからね

(事務局 上野教育総務課長)

市の基本計画がありまして、それに載せてあります。それには予算も含めての形で載せ
てありますので、そこに載せているものに関しては、そのまま実施してまいりたいと思
いますし、その予定でおります。

(質問・意見 9 坂東委員)

予定ではね。わかっています。わかるのですけれど、ただ方向性として改修の方向でい
る、という教育委員会の判断でよろしいのですね。

>方向性ではなく、計画としてということでもあります。

>そこだけ聞いておけばいいわけです。八木原はいずれ大規模改修に合わせて、もうち
よっときちんとした形で、今南小のことを決めているようにその問題について配慮できる
よと、そういう流れでいいのですね。

>前倒しになるということはあるのでしょうか。

>予算等いろいろありますし、それに伴って補助金の申請なども必要になってきますので、
その結果前後する可能性はあります。

(質問・意見 10 渡辺委員)

自分は学区編制には賛成です。皆さんのご意見の通り朝 8 時から午後 4 時近くまで生活
するのは子どもですので、子どもが教室の人数や施設の面で適した環境での教育がされる
べきかと思
います。今のままですと立体的にも平面的にも建て増しができない状況がある
ようですので、一つの教室に最大限に入れられる人数を詰め込むとなると一人一人への教
師との接点も薄らぎますし、また本来だったら教科に相応しい教室または環境でやるべき
ところを、いつも普通教室で 30 何人の中でやる、というのは良いものじゃない。親御さん
の感情的な面もあるかも知れませんが、確かに南小は新しくて施設も良く中の構造もかな
り違います。ただ、八木原小と千代田中学校が創立 40 年目で同じ時期の校舎です。外見は
確かにすすけていて古いですが、中に入れば小奇麗です。ですので、新築マンションと、
賃貸だとか分譲だとかの中古マンション、その違いだけであって、子どもたちがそこに価

値を見い出すかという、広々とゆとりある環境がいいかなと。

(水野会長)

お話を聴いていますと、学区編制をするというような方向に向いておりますので、それでよろしいでしょうか。駄目だという方はいらっしゃいませんか。それでは、編制するという方向でこれから話を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

前々から話合ってきましたけれども改めてここでまた確認していきたいと思っております。するについては、配慮する事項があるということがありました。例えば兄弟関係のことで、その事項を確認していきたいと思っております。兄弟関係者が今南小で在籍している、兄・姉が在籍している子がいたら、弟・妹がもし八木原に行くことになったらお母さんが運動会等で重なってしまうので、とても両方行けない。もし同じ時期にやるとなったら行けないので、兄弟のいる場合はそのまま南小へ通学して良いよ、というような話が出てきましたけれども、そのことについていかがでしょうか。

(質問・意見 1 1 荒井委員)

八木原の荒井です。それもありだと思っておりますけれども、逆のことも考えていた方が良いのかな、というのがあります。仮に今、南小さんにお兄さんお姉さんが入っています。でも下に 2 人 3 人いてその子は確実に八木原に行かなきゃいけない子だったりすると、逆にお兄ちゃんだけ南でずっと、となる。それよりは皆一緒という考えがあるのであれば、そこら辺をもうちょっと、何でもかんでも「お兄ちゃんがいるから下は合わせて」というのでなくて、まだ下はいないけれども、そのお兄ちゃんが八木原に行きたければ行ってもいい、とか、そういうのをもっと広く、フリーに考えてもいいのかなという気がする。地域間ではわからないですけども、ちょっと前まで反対で動いていたのは、実は下がウチはいっぱいいるから八木原小で下は決まりそうだったら、お兄ちゃんたちの方もできれば八木原行きたいんだけどな、というのが周りの方向性的に言えない人も、逆に拾ってあげられるようなことを考えた方がいいのではないかなと。確かに南小にいる子はいたい、のが一番だと思っておりますけれども、それだけじゃなくて家の中での将来的に考えたらまだしかも低学年だったら早いうちに移った方が、お兄ちゃんだけそっち、とならなくても済むのかなという家もあるだろうに、と考えると、そこら辺に対して意見がなかったから、そういうのも広く考えた方が良いのかなという気がしました。

>それはあの、選択肢に余裕を持たせるということですか。

>そうですね。

>いかかでしょうか。

(質問・意見 1 2 堀田委員)

兄弟関係の前に一つ確認したいのですが、在校生についてはこの学区編制の対象で

はない、ということですか。

>現在1年から6年までで在校している児童はそのまま、今の荒井委員の話を除きますと、そのままいたかったら在校して構わないだろうという前提になっていると思います。

>兄弟関係の件ですけれども、例えば最高に離れている年の差の兄弟で言うと、上の子が6年生で下の子が1年生、となった時どこまで配慮をするのか、ということですかね。

>そういうことです、はい。

>例えば7歳違いなら、上の子は卒業してしまっていなくなっちゃう。下の7歳違う子が次、小学校に入るとすれば配慮はない、という考え。さっき荒井委員が言われた「兄弟で下の子が多ければ上の子も八木原に」というのは、年の差があまり離れていない兄弟さんに関してはそのまま南小に入る形になるけど、逆パターンですか、逆に上の子が窮屈になる南小に残って、下の子も続いて窮屈な思いをするよりは、今南小に通っている上の子と一緒に八木原に行くという選択肢があっても良い。配慮の仕方も南小寄りだけじゃなくて選択ができる、という配慮ですか、もちろん基本的な考えは多分上の子が南小ならそこに行きたいと思えばあれですけど、入る、というのに逆の選択もできるような、どちらの学校も選択できるような配慮という風に持っていけば、八木原小に行きたいと思う人も兄弟関係を配慮できるし、逆に今上の子が南小に行っているのだから、これから通うところも配慮できる。

>まあそれもありうる形ですよ。もしそういう配慮をすることになれば、答申案に附帯で取り付けていけば。

>そうですね。附帯で付けておけばいろいろな方の配慮ができると思います。アンケート、昨年度ですけど、それにも保護者の意見からは、やっぱり在校生を無理に動かすことは止めてほしいというのと、離れ離れになるのは止めてほしいという意見が多数あったのを考えると、それが配慮されれば、南小の今の保護者さんたちが学区再編と言われると反対、という思いが強かったと思います。けれどもそれだけの配慮がされれば、保護者さんたちの気持ちもまた、昨年度採ったアンケートとは変わってくるのかなと。ただ、兄弟関係で話を終わらせた方が良いのかもしれませんが、兄弟までで配慮の対象が終わってしまうと、例えば編制される地区の、兄弟がいない今ちょうど3~4歳のお子さんたちが、お隣の子は上の子がいるからみんなそのまま南小、ウチは兄弟がいないから別れて八木原小と、兄弟関係だけ配慮されるとそうなる。移行期間なのでしかたがないと言われればそれまでですけども、移行期間に該当する子達は少人数の状態、しかも低学年だけで八木原小に通うことになる。数年経てばどちらかと言うと該当地区の子はどんどん増えていくとは思いますが、今住んでいるお子さんたちを配慮するというのはちょっと難しいですかね。

>まだ学校に上がらないお子さんたちを考えてあげるということですか。

>今住んでいる方で、そこにある南小に行こうと思って家を買っている方が多い。これから例えばこの再編のことが出て引っ越してくる方は、もう通う学校は八木原小だとわかった時点で家を買ったり土地を買ったりするので納得しやすいと思う。これから話し合っ

いただければ良いのでしょうか配慮の線引きが必要では。私も 2 丁目に家を買った人間として考えると、あの南小に通おうと思って家を買ったのに、という人の思いを尊重できる、もちろん絶対南小に来てくださいというのではなくて、選択できる対象に兄弟だけじゃなくて、今住んでいる方も盛り込めれば良いのではないかな、と個人的には思います。もちろん今住んでいる方でも窮屈な学校は嫌だな、という方は移っていいのかなと思いました。ただ人数的に難しいのかもしれない、そこまで配慮するとなると。そこが、私が資料を見て気になったところですね。これから越してくる人は多分大丈夫だと思う。今住んでいる人でまだ在学していない人たちのご意見とか数字的に可能か不可能かを出してほしい。

(水野会長)

今お話を聴いていると、例えば今 3 才の子がいる家族が住んでいるとします。ところが、後から入ってきた家族にも 3 才の子がいる。そうすると前から住んでいた子は南小へ行く。後から入ってきた家族はじゃあウチの子も同じか、と思っていたのに八木原小か。同じ年で同じ地区に住んでいるのに別れると。これはやっぱりおかしいことではないか、そういう風に後から来た人は思われるのではないかなと思うのですが。

(質問・意見 13 堀田委員)

別の地域で違っていたらすみませんが、私も噂で聞いた。ヨーカドー近くのマンションですけども、前半に越してきた人が中央小に通っていて、後半に越してきた人が四和小に通うことになったが、中央小だと思っていた。そういう話をちらっと聞いて、もうこちらの地区はこの年度からはこっちの学校ですよ、というのを納得ずくで買ったり住んだりする人なんだと思っていた。その同じ歳で違う学校となると、兄弟関係の子も同じ義務教育ですよ。ただ、上の子がいるからというだけで優先してもらえってことになるのでしょうか。

(水野会長)

兄弟関係のことで、新しく 1 年生になる子については八木原小になる。兄弟もそれは選択肢ですよ。例えば南小に 5 年生の上の子がいて、年長さんの下の子がいる、来年はどうするかというとそれは親御さんが「来年南小へ入れよう」と思うか「八木原へ入れよう」と思うか。それはこの審議会の中で、で良いですけどももし親御さんが八木原小へ行きたいと思ったらそれはそれでいいと思うのですが、南小へ行きたくなったら新 1 年生の子は八木原へ行くけれども、お兄さん・お姉さんがいる新 1 年生は南小へ行く。というのは先程言ったようにお母さんが二つの学校へ同時に行けないので。そういうようなことを配慮すると下の子はやっぱりそのまま南小へ、そこでちょっと分かれるかもしれないですけども。だから 5 年生の子がいて下の子が今度新 1 年生になる場合は、そのまま南小で良いとか、あるいは八木原へ行くとか親御さんに選択は任せると。

(久保木副会長)

学区審議会としては、こっちが勝手に言っていくわけにはいかない。親の方として考えればどっちでも行けますよという考え方が理想。ただ、あまりにいつまでもそういうことずっと続けていくと、延々となっちゃうわけですね。すると何のために学区編制をするのかとなるので、どこかで区切らなくてははいけない。だからさっき言ったように何年度からやったらもう何年度で分かれるとか、そうしないと毎年選択肢と言ってずっと続くと南小がパンクしちゃうということがあり得る。保護者の理解と言うのか分からないけども、例えば何年度からもうその入学する子どもは八木原へ行ってください、南へ行ってください、ただし上の子どもがどっちかに行っている場合はどっちでもいいですよ、という選択肢を設ければ親御さんの自由にできる意味もあるので、あまりそういうところで縛りつけるのは良くない。だからそれがね、教育委員会でしっかりつけてくれればと思います。

(水野会長)

そういうことで荒井委員さんが先程仰ったように、一つやるとするならば今 5 年生の子が 6 年生になった時、親御さんによっては「もう八木原小に行かせたい。下の子も上の子も、6 年生になって中学校へ行くのは一緒だから、八木原小へ行かせてしまおう。」という風に考える親御さんもいらっしゃるかもしれないですね。

> そういうのをやっぱりやってあげないと、親御さんが納得しないでしょう。

> そうすると八木原に行きたいと、6 年生と下の子も一緒に八木原なんだ、という方も出てくる。

> 例えば上の子が 2 年生、3 年生の時はどうか。どこかでラインを決めなきゃいけない。南小の学校が目の前なのに八木原に行け、それはいかにもひどいでしょう、学区編制にしても。それはやっぱり避けたいですね。

(質問・意見 14 坂東委員)

学区の問題については線引きが必要だと話がありましたけれども、どこかで線引きしておかないとなかなか解決できない問題なんです。学区というのは皆さんが共通理解して、この学校へ行きましょうと決めたルールだから、これはやっぱり守ってもらわないと困るわけですね。ですから今西中学校と四街道中学校、四街道中学校は分離して四街道西中学校ができたのが昭和 64 年ですけども、その時に目の前にある真ん中の道路を境目にして向こう側は西中、こちら側は四街道中というルールに決めたいですね。その時に、目の前の家はすぐ四中まで 2 分もあれば通えるわけですよ、道路を渡れば。だけどみんな西中に行ってもらった。これが学区の問題なんです。ですから私はやはり学区の問題というのは確かに兄弟とかいろいろ出てくるでしょうけども、せいぜい 1 年くらい。1 年間は猶予しておいて、次の年から分かりますよ、くらいの方が非常にスムーズですね。教育の内

容の問題については学校が指導する事項ですから、学校にお任せするしかありませんよね。我々がいくら心配しても駄目ですね。いじめがどうのこうの、学力がどうのこうの、施設がどうのこうのと言ってもしょうがないですから。これは教育委員会が良く考えてくれると。ですから問題は何年に線引きをするかというところ。いろいろな案があると思いますので、ご意見は出したっていいと思います。これはたくさん出しておかないと、皆さん方が説明会に行った時に困るわけですよ。そんなのあっさり決めちゃったのかと。ところがいずれは決めなければならない。

それからもう一つ気になっているのが、猶予期間中の学校選択の問題。教育委員会は学校選択制というのを認めるかどうかという問題がある。小中一貫校の問題が出ているという話を聞いた。千代田中学区については学校選択制というのを考えている部分があるわけですよ。それからもう一つ先程平成 29 年に八木原小の大規模改修という話があって、それも一つの考えの目安として、ある面では早く学区を決めてしまっても同じような問題がまたすぐ出てくるので、解決は早い方が良いのかなという感じはします。私はかつて千代田中学にも教育委員会にもおりましたけれども、学区の問題はどっちに転んでもいろいろな利害関係が生じてくる問題です。ここで我々が理論武装できるような形で一つの結論に導いていくというのが一番良い。

(質問・意見 15 清水委員)

やっぱり地域の方の声を聴いたり、委員の皆さんの心情を聴いたりすると、兄弟がいるのに別々の、というところが譲れないラインだというのは、地域からも委員の方の発言からも思います。兄弟で区切れればさっき仰った上が 6 年生で下が 1 年生っていうのが最長ラインなので最長 5 年ですよ。他に兄弟と言えば 2 歳とか 3、4 歳離れているくらいなので、3~4 年経てば学区が変わったところは八木原に移って、ということになるでしょうから、ある程度時間的な目安がつくということと、やっぱり誰がどう見ても上の子が南小に通って、下の子が八木原小に行きなさい、というのはちょっとひどいなと思えること。ただ、1 年生になって「私やっぱり南小に行く」とか、途中で八木原へとか、あんまり自由に決めすぎるのもどうかとも思う。入学前にもっと早く、兄弟がいて今度入る子は入学時に決めてください、ただ途中で変わることは余程の事情がない限りはあれこれ変えるのもよくない、という気はしています。そうやって決めてもらえればある程度児童の数も制限できると思いますし、兄弟がいるのであれば、何とかそこだけは猶予をいただきたいというのは私の心情ではあります。

(水野会長)

前回梅山委員が仰ったと思うのですが、内黒田地区が八木原小学校区になった時に、余裕がなくなって、最後は内黒田の子が南小へ行きたいという子が一人になってしまって、他の子は皆八木原小へ行きたいとなったが、最後の一人の子だけは南小に行きたいとなっ

て、届けは出したが、変えてその年からは全員内黒田は八木原小になった。それまでに 4 年くらい兄弟関係を配慮した結果、4 年くらいで内黒田の子は八木原小になった。そういう過程があった。そういう事例もある。

(質問・意見 16 坂東委員)

子どもたちというのは兄弟関係もちろんありますけども、友達関係というのものすごく重視する、ということがあります。やっぱり友達と一緒に動くことが影響します。その辺は子どもの考え方になりますけども、必ずしも兄弟別々でそんなに今まではどうのこうのとは聴いていない。兄弟よりも友達関係をものすごく重視すると思います。

(久保木副会長)

家族で子どもとよく話し合っ、どうするのか決めてもらう。勝手に決まったことだったら我々がやることは特に何にもない。例えば来年、再来年辺りからスタートと決めた時に、その他は特にいいですよ、上と下が完全に分かれた子。その子も 6 年先になると完全に関係なくなる。その辺をうまく周りと一緒に進めていけばいいのかなど。前にもちょっと話したことあるもねの里 3 丁目は、だいぶお子さんが大きくなっている家が多い。3 丁目が一番多い。それから 2 丁目が続く。2 丁目が 100 件越えたと言っていましたので、一時期より随分増えたなど。ただ 3 丁目は 160 件。今増えているのは 4 丁目。その辺のバランスだけです、増えるというのは。多分これから 2 丁目はまだまだ教習所の前から後ろの方は随分宅地が増えてきた。相当あの辺も増えるのではと思う。

(質問・意見 17 古川委員)

八木原小の改修が 29 年から 30 年に行われるとのことで、その 29~30 年に向けてプランをつくって、30 年にはきちっとした学校を、というのが理想と思う。

>そうはいかないでしょう。

>そうしたら改修前の 27 年度から 2 年間となる。

>来年からはスタートしていかないと間に合わないでしょう。

>今いる子どもたちはそのまま、今いる学校に戻ることができる。心情的に整理できないのは親の方。子どもたちは環境には順応していくと思うんですが、きちっとした編制をする理由を箇条書きにして説明できる状態にするのが大事だと思います。あとやはり 2 年間は余裕を持たせることを実施する、というのは必要。

(質問・意見 18 ※ 菊地委員 ※)

この辺まで含めて、27 年度新入生の 1 年から 6 年までは転校をさせないというところで、あと兄弟も荒井委員の言ったように救済処置を。28 年度の新入生で学区再編をして、というようにある程度形を作っておくのが良い。

(質問・意見 1.9 梅山委員)

厳しい意見になるかもしれませんが、先程も済んでいることですので内黒田の人たちは自分たちの親も全部南小の出身ですよ。そして親だけではなくて、おじいさんもおばあさんも全員南小の出身。その中で学区編制が行われた時に静かに行われたのはとてもよかったなと今思っています。それで今何の問題もなくやっています。じゃあ、もねの里がどうしてそんなにと思うと、やっぱり清水委員もいろいろ仰ったように感情的なことで、「親の気持ちをわかってくれてない」「計画がこういう風になった時に謝ってくれることもない」という、こう感情的になるとは思う。私はやっぱり学区編制を行うのならば、ある程度この段階から1年生はここ、というのが決められて、後は選択肢の中で親が選択していくことなので、初めから幅を持たせて選択肢があり過ぎるのもどうか。やっぱり学区編制をするからには、原則的なものはあってその上でうちの子はあと何年したら八木原小だから、お兄ちゃんと一緒に八木原に行くとかね。そういう親の問題と言っては申し訳ないけれども、やっぱり親の問題だなと思いますよね。多分お母さんたち、お父さんはわかっているかどうかわからないけれども、いろいろな方たちが話す中であなたは八木原小に行く地域、私は南小に残る地域と、個人的な関係で寂しさもあればこれからどうなるんだろう、ということもある。それは学区編制を決めるとなった時に、ある程度選択肢はあるけれども仕方がない、という風に受け止めることも必要かなと思います。あまり先ほども言ったように幅があり過ぎるとけじめがつかないことにもなります。私は民生委員ですけども、もねの里は未だにどこが1丁目なのか4丁目なのか5丁目なのか全くわからない。もう久保木さんのところなんか、将来3年後には久保木さんのところに迎えに行くからね、という感じで、もねの里の2丁目の委員さんになってもらっていますけれども、わからないですよ。わからないことをいくら市役所の門を叩いてもわかりませんので、わからないことを受け入れよう、というのは無理ですけども、それに従って行くことも皆で知恵を合わせてよくやって行くのも必要かなと思いますね。あまり堀田委員がいろいろ考えているように、下の方まで選択肢をこれもあるよとなると、却って混乱するかなと、そんな感じがします。

(水野会長)

先程、坂東委員が仰ったように、学区というのはある程度きちっと決まってないと、該当の人自身の葛藤にもなりますので、きちっと決まっていれば、しょうがないからじゃあこっこの学校で、となるのではと思いますね。順序が逆になりますけれど、27年度からは原則八木原小で、ただここは猶予期間を持たせて、先程言ったように八木原に行きたいとなれば八木原に、南小に行きたい人は南小に行くでかまわない。

28年からは兄弟関係を除いて全員が新1年生は八木原、という風にそこははっきりさせたい。27年は兄弟関係を除く新1年生は、原則八木原あるいは全員八木原にする。どちらでもここで審議していただいてもいい。来年度、27年度の新1年生は兄弟関係がない場

合は八木原、あるいは親の判断で南も認める。

(質問・意見20 堀田委員)

平成27年度の新1年生はどちらかを選ぶのか。

>どちらを選んでも良い。

>ただ28年度の新1年生からは確実に、兄弟関係がなければ八木原小となります、そのことを踏まえた上で27年度新1年生第一子の方は考えていいですよ、ということですよね。例えば第二子がもしかしたら八木原小を選択するかもしれない。逆のパターンだと、あと1年だけでも上の子と一緒に行かせたいと言えよ。それと27年度新1年生が入学しますよね、その子たちが八木原小に途中から移動する、ということはないですか。この中でも対象にはならないですか。

>それは僕たちにもわからないけれども、事情があってそっちに行きたいと、了解が得られれば移動もあるのでは。

>27年度に入った子だけはどっちにいてもいいということですか。例えば年が進んでいった時に、入る時は南小で入れたけれども何年か経ってやっぱり八木原にしようかな、ということができるのはおかしいですよ。

(質問・意見21 菊池委員)

ただね、今は子どもたちのこと、家庭のことばかりを考えていますけど、先生の人数が多くなったり先生の採用だったりということを含めて考えないと。さっきも梅山委員が仰ったように選択肢がいっぱいあると、変な話20人だったら1人増えて入れなければならぬとか、そんなの途中でやられたらたまらない。だから、ある程度どこか厳しい部分を区切りでつけておかないといけないと僕は思います。

>27~28年度も第一子のことにきちんと決めた方がいいのかなと。

>私がさっき言ったのは27年度の1年生から6年生までは転校させない。荒井委員が仰ったような部分あれば対応してもいい。その人数が多かったら、さっき言ったような先生の問題も出てきてしまうが。

(質問・意見22 荒井委員)

単純に今ここで在校生は守る、と言っていて話は決まっていると思う。そこから逆算していけばいいのではないかなと。多分またこれから来る人もいるでしょうけど、今現在いてプラスアルファこれくらい来るだろうと多少見積もって、教室数・人数で割り出して猶予の人数どこまで引っ張れるかを出す。猶予で行ける子どもはもう生まれていると思うんですよ。今いる1年生の子だと0か1歳くらいになるかならない子が、上がいるから選択させて、という対象になっていると思う。多分そこまでしか猶予がないはずなので、その人数で割り出してもうきっちりここまで、というのはもうちょっと明確に数字をもらって

出してもいいのかなと。

(久保木副会長)

来年度、再来年度のうちその子どももまだ4歳くらい。そうするとそこで1回切っちゃう。そうするとその子は八木原小ですからね。上の子は南小にずっといる。上の子どもがいるから下の子ども入れるじゃなくて、そういうことを決めてもらわなくちゃ駄目。親はあと何年後になると二つに分かれちゃうなら、最初から八木原に上の子ども入れておく、そういう考え方を持たせないと駄目ですよ。きりがありません。

> ですよ。そうすると上の子が南小にいても、いずれ切られることがわかっていてしかも3人兄弟の2人が八木原となってお兄ちゃんだけ南でいさせる、というのは逆にこの子が可哀想だと。

> だから来年度は余裕を持たせて、再来年度はピシッと決めさせる。そういうことを親御さんもわかるわけですね、新しく入ったら別々になっちゃう。じゃあ元から八木原にという形になってくる。どこで線引くかによってまた変わりますよね。だからそういうことを踏まえて決めていかないと。ただ来年度からガバッと線引きします、というのはちょっと問題あるかもしれない。

> 兄弟配慮が残っているのですよね。配慮が残っているから先程仰っている平成27~28年度関係なく上のお子さんがそのまま在学中であれば29年度に入る子もお兄ちゃんが一緒だから入れる。

> 兄弟はそのまま。次の3年後の新入生も兄弟がいればそのまま南に入れる。

> 逆に八木原に行きたいという時、どういう風に教育委員会が判断するのかわからない。増えたら一人先生増やさないといけないこともありえる。その辺考慮しながらやっていかないといけない。ただ何でもオーケーではないことだけわかってほしい。

(質問・意見23 清水委員)

あともう1点、学区再編をするそもそもの理由は教室が足りないからどうするかということ。平成28年度に再編とした場合に、南小が溢れてしまわないかなと。それは学区再編する地域を広げちゃえば何とかできるでしょうけど、遅れば遅れる程、南小が溢れる。学区再編対象になる地域を広げないと結局溢れちゃいますよね。そういう数字的なデータをちゃんと市から出してもらった上で、いつやるかどの範囲をやるかを決めないと。

> 来年度入るのは3クラスと考えると、そうすると今6年生2クラスが減るわけですよ。そうすると1クラスだけ入れる。パソコン教室を改良して、という計画が恐らく一番最初かな、あったと思うんですよ。そうするとそこまではなんとかクリアできる。その次の年も2クラスあれば2、3回はできる。教室がない。

> 例えば兄弟配慮があったら、仮にもねの里2丁目がお話しされている6丁目だとしたら、2丁目だって兄弟がいる人ばかりなんですよ。そしたら結局2丁目だけ再編したって全然児

童数が減らないんじゃないか、という事態が起こり得てしまうわけですよ。そうしたら結局 2 丁目だけじゃ駄目だ、2~4 丁目全部をこの対象にしないと駄目だ。ということにもなってくる。果たして兄弟配慮が必要な人がどのくらいの数いて、どのくらいの数が実際に入ってくるのかというデータをちゃんとした形で出さないと、地域の住民は絶対納得しないと思います。それによってこれだけ兄弟配慮がいるから、実際南小にはこれだけの人数が来ますよ、だからこのもねの里 2 丁目だけ学区再編してもまったく意味がない。じゃあ 3 丁目 4 丁目全部をそういう風にしないと、結局意味がないじゃないですかとなりますよね。2 丁目だけ移せばこれだけ減るんだから大丈夫です、という数字のデータが出せないとやっぱり何でうちの地区だけが、と決められた方は絶対思う。それが数字のデータでもう教室がこれしかないの、ここで区分けをするんですという数字で出せば理論武装にはなるのかなと思う。その辺はやっぱり今まで出たデータでは兄弟配慮の分が全く分からないので、兄弟配慮をちゃんとするのであれば、その人数も把握してそしたら 2 丁目だけ移ったって絶対駄目ですよ、と言える。

(質問・意見 24 橋口委員)

南小の橋口です。今年度の 1 年生のことですけれども、ここに来る前に実はもねの里 2 丁目何人か一応数えてきました。それでですね、今年度 1 年生 93 名いるんですけれども、もねの里 2 丁目 24 人、兄弟がいない子が 17、ですから 7 名くらいが兄弟関係対象となってくる。以上な状況でした。27~28 年、推計を見ていくと。大体 100 人弱になっています。そんな大きな差はないと思うんですよ。1 丁目とか 6 丁目も開発される推計になっていますので、ひょっとしたらこの 20 人も比率的には減っていくのかもしれない。

>このデータは兄弟がいる人の兄弟猶予が何人、というのを確実に出せる数字だと思う。幼稚園の数とか多分実数をちゃんと出さないと、これはもう絶対地域の人は納得しないので、ここはですねちゃんと兄弟猶予が何人で、恐らく南小に行くだろうという人が今年のデータだけではなく来年再来年その次くらいまでちゃんとわかるように。もう子どもが生まれている人数がわかるので、その人が何人で、実際兄弟いないで入ってきて八木原に移る人が何人。だからこの地域を移動すれば何人が八木原小に行くんですよ、というのがもう説明会の時に出不さないところは絶対に譲れない、住民として、という人が多い。過去、どうしてもデータが足りない、データが足りないという意見が住民の方から凄く多くあった。これは決して出せないデータではないと思うので、果たしてこの地域の兄弟猶予を考えて移した時に、何人八木原に行きます、それで何人について何人南小に入っています。果たして教室数はどうするか、1 クラス何人でどれくらいの教室数なのか、というのを実数で 3 年後くらいまで出してもらって、その上で、しょうがないのかな、ということになれば納得する、ということだと思います。それが 2 丁目に限定されず、違う地域になったとしてもそのデータがないことには説明会では説明できないのではないかな。

最初にどの地域を学区再編するかを決める、と仰っていましたけれども、そういうデー

タがないことには、どこというのをはっきり明示できないんじゃないか。候補ほどの辺で、とは言えると思うのですが。

> 予算関係もこれから開きますので、言われているのは、案は今日出してください、答申は8月には出してもらおう。その間に説明会等がある。何年から行うというのも決める。

> そうすると、その根拠というのがはっきり示せない可能性がありますよね。結局ここだけ対象にしても、児童数南小そんなに減らないじゃないか、ということが後々データでわかっただけじゃあ、我々のこの話合いの意味のなさが出てしまう、ということになる。やっぱりそのデータを示さないことには、地区までは明示できないんじゃないかと。

(久保木副会長)

そういうデータはいずれにしろ前から教育委員会の方にも、どことどこはどれだけいるのか、何歳の人はいくらだけいるのか、ということは見つかりますので、データの的にそれはすぐに出てくると思う。来年度の1年生のと、子どもたちの表があるからね、それも含めて。難しいけれども、現状だとわかるような気がしますのでそれは大丈夫だと思う。

さっきから言っていますが、いつまでも引っ張っていくと予算上の問題があって、結局これからこうしてほしい、ああしてほしいと言っていると、まずコンピューター室を改修するのにお金がかかる。そうすると日にちが間に合わなかったら予算が組めない。すると常にそこで教室は満杯に、さあどこに行きますかとなってしまいます。だけどデータのの一つ一つについてはおそらく全部クリアできると思いますから、案の案を、とりあえず答申案を作るというのが一番でしょう。後で細かい内容についてもり込んでみて、最低限譲れないところを全部入れてやっていければそれでいいのかなと。あと、当然説明会ですね。説明会も委員の合致をしないといけないわけですよ。そうすると皆さん気持ちを一つにしないと、「え、それ違うよ」「あれ違う」と、この中でもし揉めたとしたら、説明会の日に。全部不信感になってしまうから、だからその辺も含めて同じ文書の中で確認し合ってこの部分をどうしておいてほしいとか、そういうものをまず1回作ってから文言をまた入れて検討すればいいこと。そうやっていかないとまず進んでいかないと気がする。

> 兄弟配慮までのところはわかったんですけども、平成27～28年にどうするか、というのもそのデータがないことには何とも言えないかなという気がしたので。

> 教育委員会からのデータにもよると、学区編制しても南小もあと6年後にはいっぱいになる。

> 平成28年度から八木原は最低ラインだということも存じてはいます。

> 例えば17人八木原に動くと言ったら、随分違いますね。1クラスあるかないかの状況が変わる。人数が少ないから云々ではなくて、クラスが3クラスになるか2クラスなるかによってかなり変わっちゃう。そういうことも含めてですよ。とにかく南小はもう3クラスは駄目なんですよ。

(質問・意見 25 堀田委員)

データは教育委員会にお任せすることになると思いますが、28年度から再編するとして、まだ地区は決まっていらないんですね。地区によっては前にもらった資料の2とか3とかを見てもわかるんですけど、とりあえず再編はしても平成32年度とか33年度には、やっぱり3クラスが登場しちゃうんですね。そこの先までは考えられない、ということで良いですか。結局今のこの案ですと、もねの里2丁目、1丁目、茶屋の作が再編で移動したとしても、32年度、33年度にはまた3クラスが登場してしまうということは、今の再編地域だけでは6~7年後にはまたパンクですよね。校舎も建てなければいけない。仮設は建てる、ということなんですか。

>委員会の考え方にもよると思います。

>現状は建てられても場所がない。

>今の時点では建てないという方向ですか。近いうちに説明会をする時に、再編で移動する保護者さんに対しては、とりあえず5~6年の間仮校舎は建てないと説明する。

>いや、建てないということもない。パソコン室がなくなるので仮設も少しは作らないといけないのではと思う。教室としては作れるかはわからない予算的に。ただ皆さん、子どもさんたちが使うところはやっぱり確保してあげないと。

>それは再編が始まると同時に建設が始まるということですか。そこまできちんと説明してあげないと、再編により移動する人の気持ち、感情と言ったら変ですけど、再編で移動してから仮校舎建ったじゃないの。あそこに何故入れなかったの、という親の心情というかそうなると思う。その何年後かには建てるのか、今建てるのであれば兄弟配慮も十分可能だと思う。28年度に間に合うように仮校舎が何教室か建つのであれば、兄弟配慮も人数増えるのも心配ない。3クラスが1つ2つ出ても、という気がする。仮校舎の案もこの資料の中にありますが、ここも建てるとなった場合の再編報告と、全く建てないとなった場合の再編とある。再編するとしてもまた6~7年後のことを住民とか保護者さんが知りたい、また同じ問題を6~7年後に残すのか、という疑問は出ると思う。

(質問・意見 26 梅山委員)

また酷なようですけども、やっぱり今再編が決まった以上、堀田委員が言うには数字の上で将来的にはクラスが増えるだろうということですけど、それはまた別なことで、その時にはまたその時に、仮校舎を建てるとか話さないといけないけれども、今そんなことをやっていたら、話す暇がないと思いますね。やっぱり28年の1年生の子が6年生になると何人。その位の月日がここで要する時に、その時を見越して、では仮校舎を、というのは今言っても仕方がないのでは。今会議をしているのは何のためだというと、子どもは28年度から八木原小の空いている教室に行こう、というのが目的ですから、それを見越して30何年には足りなくなるからでなく、その時に足りなくなったらしょうがない、と言っはいけないけれど、どのくらい入ってくるのか予想はこの数字では出ているけども、凄く遠

くまで見すぎている感じがします。

(久保木副会長)

あの数字は大体こうなるだろう、という現在を追っかけての数字になるのでしょうか。

>そうですね。

>ということは、この数字が 100%こうなっていくわけではなくて、将来的に恐らくこうなるだろう、ということですよ。これは例えば、学区編制になった時に学区の子どもがそれこそ増えた場合は完全にアウトだけれども、減ればまた廃案になるわけですよ。だから子どもさんがこれから増える場所と減る場所というの目に見えているわけですよ、もねの里にしても。それで、これから 4 丁目 5 丁目となっていく時に、この辺は結構また人数が増えてくるだろうけど、3 丁目は減っていくだろう。そういうことを考えればそんなにべらぼうにわーっとはならないような気がする。ただ、全部の敷地を考えたら完全にそうなるだろうというのは目に見えてわかっているので、すぱっと切っておけばその辺は結構打ち消せる部分が結構あるのでは、という気持ちです。

(質問・意見 27 荒井委員)

その意見もわかるのですが、ただ、清水委員が言いたいのはここにデータが出ていて、6 年後に仮校舎作りますよ、でも今は作らないからあなたたちはこっちに行っていて、とやるなら、だったらこう作っているのだからこっちまでで作るなら作る、作らないなら作らないのを決めた方が良いでしょう。八木原の方のキャパシティはここで作らなくても大丈夫くらい多分受け入れられると思います。だったらそこまでもケアできる幅の地域を入れちゃった方が良いでしょうかなと。今だと 2 丁目の方だけとりあえず当座、仮校舎を造るまでの 6 年間、あなたたちだけ犠牲になってくれれば大丈夫ですよ、という感じになってしまう。だったらそうじゃなくて、この 6 年後には確実に仮校舎を造ります、でも方向性としてはそれも作らない方向となっていますので、2 だけじゃなくて 1 でも 3 でもそこまでもカバーできるのを今決めちゃった方が良いでしょうかなと思う。その方が多分今 2 丁目の方も、いつになってもいろいろなことを考えて作らないで、八木原に移ってもらう方向に決まったので、と言えば多分話が楽だと思う。ただ 6 年後は作るよ、オーバーするから。でも今はまだ大丈夫だから作らない、でもあなたたちは受け入れられないから出て行って、というのはちよっと違う。やっぱり聴いている立場からすると、意図は違うかもしれないですが、今の説明だと 2 丁目だけ犠牲になるのか、という風にしか聴こえない。2 丁目が出てくれればあと 6 年は持つか、という。

>そんなこと我々は言っていないよ。

>でも、僕は当事者ではないですけど、僕が感じるということは、当事者の方たちは多分同じ説明を受けてこの表を見て、6 年後にオーバーすれば仮校舎になりますと聴いたら、そこで造れるならなんで今やらないの、という話になる。

>これから人数が増えるにしても、誰も予測できないことはいっぱいありますよね。
>早めに大きく取ってしまった方がいいのでは。またその6年後に同じことしましょうと言うのであるならば、今データが挙がっているのを使った方が良いのでは。
>データは完全にこうなるというのではなく、現状から言うところになりますよということ。恐らく場合によっては3クラスね、6年間で3クラスになることもあるかも知れない。でもそれだったら対応できるわけですね、南小でも。全学年3クラスになることはないと思うのですよね。
>頂いた資料を見ると、どんどんどんどん3クラスになっていく。
>それは全部のこと。
>いや、違います。平成27年度新1年生より学区再編した場合の資料ですらもう、平成37年には全部3クラスになり、もうどんどん増えている。
>28年度にはもう危ないという表ですよ。
>平成27年から学区再編をしても、平成32年には3クラスが出現している。だからまあ、このデータだけ見ると、1、2丁目、茶屋の作だけを再編しても無理だってことですよね。学区再編が決まったのであれば、もっと幅広い範囲を想定して、ここは学区再編ですよ、と指定しないと駄目です、ということがこのデータを見て目に見えてわかってしまう。
>そうですね。だから今でこそ兄弟の幅を持たせようと言っていますが、これで言っていると、広く取っておかないと結局2丁目のところで兄弟、兄弟で残って行って、こっちが増えたら多分今は補填しますよと言っている、将来的には3年生4年生になって、あ、やっぱりごめんなさい、無理です、となるのではないかなというデータだと思います。
>逆にその時学区編制すればいい。校舎を建てるのでなくて。ここからここまでは八木原に行ってください、というのを広くすれば。校舎を建てる建てないということは置いておいて、人数が増えたら学区編制でうまくすればいい。

(水野会長)

私が思うに南小学校区の住居ですか、新しく建てられる物の市の建て方がはっきりしてないというか、例えば駅の近くにどんと建てられるとしますよね。どんと建てられたら時に八木原小へ行ってほしい、というのは無理だと思うのですが、やっぱり南小になると思う。で、今仰ったように、もし亀崎の方にこれが建ったとします。この子もやっぱり南小へ行かないとやっぱり駄目ですよ、どう考えても。南小を越えて八木原へは全然行けませんよね。

(質問・意見28 清水委員)

例えばこれから造成していくところが4丁目の更に一部、5丁目6丁目これから造成します。その時に今の段階で学区はここですよと触れておかないと、家を買う人はてっきり綺麗な南小に行くと思って、今、まさに2丁目で起きている状況が、また繰り返される可能

性があるわけですね。だから、もう今の段階で例えば 2、5、6 丁目は八木原小ですよ、と決めておかないと、どんどん今造成されて、多分そのうち家が建つここが何学区ですよと書いておかないと、また同じことの繰り返しになってしまってまた住民の感情が高まってしまう。決めるのであればほんとに幅広くした方が。

>10 年後に南小に仮設教室が出来る。このデータだと造らざるを得ない状態ですよ。

>造らなくても学区を広く取れば、造らなくてもいいわけですよ。

>南はもう決まっているじゃないですか。八木原はまだ受け入れても余裕があって、まだまだ行けるわけですよ。だったら最初からキャパシティのあるところに流すように仕向けておいて、多少南に余裕を作っておけば余裕のあったところに+1でも、今年はちょっと予定より多かった、で済むというようにすればいいのかなと思う。学区編制自体も。それを今、ギリギリ一つ教室を潰してなんとかここでという取り方をしている、これから増えるからもう 1 回やり直しというのでなくて、もう最初から何だったら 1 クラス減らしましょうくらいの、そのくらいの余裕はありますよという風に。南はどうせ増えるだということくらいでやった方が良くないかな。ギチギチをギチギチのまま続けるのでなく、八木原にどんどん回すようにしていった方が良くないかな。

>いや、それはね八木原に回すのはベストだけど、南小飛び越えて八木原まで行かせるか、というのもポイントの一つでしょう。

>結局そうになってしまうわけですよ、最終的に。

>いや、まだわからない。

>今あるのが完全に当事者の清水委員、2 丁目ですよ。2 丁目の人たちの気持ちからしても、やっぱりバーンとなった内の 1 個だよ、となったらしょうがないよとなる。ほぼ同じような状況にいるのに、いや 2 丁目だけ対象だからあなたたちから行ってという時の感情と、いやこの中皆対象だからあなたたちだけじゃないよという中の 1 人だ、というのでは多分受ける印象が同じ言葉にしても違うと思う。見ていてやっぱりどう聴いても 2 丁目 1 丁目でなんとかしたところで、最終的には収まらないのであれば、せっかく皆さんが集まっているのだからたかが 10 年くらいのことをぱっと決められないのかな。まだ、八木原もパンクです、南もパンクです、の状態でこうやりくりしましょうというのなら人の前後があるからもうしょうがない、となるかもしれないですけど。八木原は教室 10 クラスも増やせると今校長先生が仰っているのに、こっちを使わないでまずこっちで何とか留めようというのは、ちょっとこの会議と違うのかな。後からその頃には仮設があるとか、人が多くなったら仮設が、という意見があるなら、僕はもう今すぐ仮設校舎を造ってしまえば良いのに、という感じがします。

(質問・意見 29 梅山委員)

今、仮設を造る話は、もう 1 回元に戻るような感じですけども、学区編制をするから

には仮校舎を建てないということが今までの話の連続だった気がします。それで、じゃあ先程から言っている平成36年にはどうなのかわかりませんよね。その時に南小学校の南方地区が足りない、という時に改めて八木原小に行くか、あるいはその時にどうしようもなく仮校舎を造るかどうかはまだ決まっていなことですよね。だから決まっていなことを、やっぱり感情的なことがあるのかなと思うけれども、もねの里2丁目だけがという感じがあるかもわからない。でも私は今、この地図を見てもねの里4丁目5丁目、何丁目かを対象に入れると思ったら、この古村の人たちはね、南小学校の中でそれこそおばあちゃんもおじいちゃんも生活してきた人たちですよ。こういう人たちも今先程も言ったように、もねの里4丁目がどこなのか5丁目がどこなのか何もわからない時に学区編制をして、この小村の人たちまでも巻き込むようなことは凄いなことになると思いますね。久保木副会長も住んでいるところはおねの里ですけども、ちょっと外れれば南小学校の小村のところですよ。あそこの人たちも人数を入れてというのは、多分これは36教室の中がここも入っていると思う。いずれここがおねの里の4丁目5丁目になるということをやっているから。でも今この人たちを学区編制の中に巻き込むというのは、もっと大変なことになるかなと思いますね。確かにもねの里2丁目2丁目と言われていると、自治会長さんもPTAさんも大変だろうと思うけれども、差し当たってはこの後の5~6年、今やることはこれしかないのかなという感じがしますね。

(質問・意見30 清水委員)

すいません。でもやっぱり最初の方にこの南小を造った時にこうなる事態はわかっていた、その時手を打たなかったのは失敗だったと。この会議は10年後のことを考えなければならぬと最初に確か話があったと思うのですが、やっぱりこの会議は10年後のことを考えるべきだし、もう明らかにこうなるということがわかっているというのは、また同じことを繰り返すことになるし、家を買う人にとってはその時に買った時に学区がどうかはわかっているかないと、本当に全く同じことで繰り返されてしまう。ということ考えるとやっぱり同じことを繰り返さないようにする、というのは我々委員の責任ではないかなというの思います。

>いや、南小を建てたのは失敗だと言われるのは凄く頭に来る。

>そうですね、すいません。失敗だったというのは取り消します。

>我々こういう時点でわかっていたからね。3階建てが物凄くほしかった。そうしていたら、まだまだ余裕があった。はっきり言って。本当は違う場所に建てることもできる段階にあってあそこに戻った。それは市の体制や国の体制を総合的に考えてあそこから出るな、ということはおまあ仕方がないのかなと、今は思っていますよ。

>久保木副会長も神保さんもですね、反対されていたというのは良く聴いていて、それは本当に良くわかっていますね、こうなることをわかった上で反対して下さっていた。ただ、じゃあまた実際に同じことになる、実際同じことになるじゃないかと反対する人が

いるのに、何も手を打たないというのは、その時委員だった人たちも苦勞されたことを、また蒸し返すようなことになってしまうことがなんとかならないかと。

>例えば 15 年か 20 年先か考えてやることが正しいかも知れないけれど、今 3 丁目、4 丁目は数的に多くはないですね。更に向こう、5 丁目からは高い建物はない。それこそでっかいマンションがどんと建てば話は変わるかもしれないが。

(水野会長)

あの、話がまとまらないので、はっきり言うとその審議会、私に言わせていただくと 10 年先、15 年先のことを言われると責任は持てません。何故かというと、私の経験によりますと千代田団地、あるいは旭ヶ丘団地などは増える時はぱっと増えます。減る時はがんと減ります。ですから、もねの里の方も増える時は増えます。だからがんと増えて 15 年先もまたがんと減ります。その時に学区を広い範囲で変えていますと、今度は南小の方が少なくなる、ということは当然考えられますね。15 年先はそのくらいになるのではないかと思います。該当地区の児童数も減ってきているのではないかなと。そういったことを考えると 15 年先を考えられなかったのかと言われますとそれは考えますよ。更に運用の仕方も偉く違ってくると思います。何丁目に何戸建てるか、これはもう業者の方針によってですので、こちらはちょっとわからない。だからどうしても目先の方になってしまいますけども、今現状をどうするか、ということがまず一番と思います。

(質問・意見 31 長谷委員)

八木原小の長谷ですが、今最長で 10 年 15 年先というのは、はっきり言ってあくまでも推計上です。ここに網掛けが掛かっているのは実際に今過去 3 年間のデータのままで行けば、このくらいの子どもが生まれるであろうということで、実際には生まれていない子を予測で入れている。だからこれ網掛けなんです。過去 3 年間のデータからでいけばこういう風に増えていくであろう。ですから、この白いところは実際に戸籍上登録されている児童数、0 歳から 5 歳児の未就学児の数が基にして計算されているんですが、網掛けはあくまでまだ生まれてない子の集計ですので、それを基にして厳密に審議されると、ちょっと心配なところがあります。

>これを見るとほとんど平成 28 年度から 1 年生は 3 クラスだし、3 年生も 3 クラスだし 5 年生も 3 クラスだし、これ平成 27 年度の新 1 年生を学区再編しても、網掛けの部分がなくとも、やっぱり南小は 2 クラス 2 学級なんですと言っている、やっぱりこの最初の案、もねの里 2 丁目 1 丁目、茶屋の作ではもう平成 28 年度の段階で教室数が 3 クラスのところ、3 学年半分は 3 クラス。平成 29 年度もそうだし、結局それを見ると南小は 1 学年 2 クラスですと言っている限りは、もっと学区再編の範囲を広げないとこのデータは網掛けじゃないところを見てもそれは言える。平成 27 年度新 1 年生より学区再編した場合、平成 28 年度 5 月 1 日のデータで、1 年生 71 人 3 学級ですよ。3 年生 100 人 3 学級。4 年生 77 人 3

学級。3 学年も 3 学級のクラスがあるということは、結局事態としては全然変わっていない
というかあまり改善されていないですね。それであれば、10 年先とは言いませんが 2 年
先を見ても、やはりもねの里 2 丁目だけというわけにはいかないのでは。

>16 教室であれば、何とか校舎の特別教室の改修で対応は可能な範囲なんですね。

>そもそも最初に学区再編をしますと説明したのは何のためか。特別教室が必要です、
特別教室を残したいから学区再編するんですよ、ということでの共通認識でしたね、とい
うのは最初に確認しました。それが特別教室改修しますよ、と言ったら最初に確認したこ
とがずれちゃうことになる。やっぱり特別教室は残すべきじゃないか。それがそもそも一
番最初のスタートだったわけであって、それで学区再編やりましようとなつたのに、特別
教室を潰しますでは最初のことが崩れてしまう。特別教室は必要です、特別教室を潰さな
いようにしましよう、ということでの学区再編ということがそもそもスタートだった。こ
の教室数では結局意味がないのではないかなと。今何教室ですか、何クラスですか。

>13 クラス。

>今は 13 ですね。それがこの平成 28 年 5 月 1 日には 15 になっている。今既に図工室を潰
している。特別教室が潰れている状態なわけであって、それで更にコンピューター室まで
潰すとなつたら最初の特別教室が必要だからというのが崩れてしまう。

>こっちの数字を引いて 3 学級増えるということだから、どこかで増えるわけでしょう。

>いや、平成 28 年の段階で今 13 学級+サポート 2 学級。それが 15 学級に増えるであろう、
ということはプラス 2 でサポートは 1 しか考えていないのでサポートの部分を入れると 3、
プラス 3 教室必要である。既に図工室と地域連携室を教室として使っている。教室じゃな
い教室を 2 教室使っているのに、更に 3 教室足りない。それでコンピューター室を改修し
ましよう、何を改修しましよう、となつたら結局特別教室が必要です、というような最初
の説明が全く成り立たなくなってしまう。

>今聴いていて不思議だと思ったのが、八木原の方にはキャパシティがいっぱいあるじ
ゃないですか。単純に考えてもこの誤差があるにしても、八木原は今のところ増やしても
問題ないわけですね。仮に 2 丁目まで、というのを 3、4 と 2 つ増やしてそこから選択し
て、亀崎の方に増えようかとなつても八木原は対応できると思うんですよ。だからそれを
早目にやっしまえば良いのでは。南に余裕を持たせておけば、亀崎に増えました、どこ
が増えましたという時の対応もしやすいのではないか。潰したけどやっぱり仮設校舎とい
うのでは、今文句を言っている人たちは、あの時のことは何だったのか、税金の無駄遣い
かとか、ウチが犠牲になっただけじゃないか、という感情は絶対出てくると思う。だつた
ら皆仲良く行ける人は行かせましよう、という方が良いのではないか。

>今の話だと 3 丁目の人も八木原で、ということ。

>そうですね。人数とか亀崎とかも見越して、と言うならばそこも広く、今のギチギチ
の考えよりはもうちょっと広く。

>見越して、というのがわからないと言っている。

>わからないかもしれないですけども、今のところデータで増える可能性がある。久保木副会長の話だと亀崎の方ももしかしたら建つかもかもしれない。南小学区は余裕がないのに、増える可能性がいっぱいある。ただ八木原の方はほぼ今のところ内黒田がちょっと増えているくらいで、いくらでも受入れがあるならこっちに最初から入れればいいのではないかなと。

>例えば南小の目の前の辺り、西中の中のその辺りが八木原だということになるわけでしょう。

>でもそれもしょうがないのでは。

>学校に近いとかは一切何も考えないで、この際破棄してやりましょうという考えで今回はいきます、ということでしょうか。

>それは我々2丁目も同じことですよね。

>その人たちは良い、配慮したよ。でもあなたたち駄目。南小の近所だからセーフ、というのはどうかと。僕たちは一生守られます、何故なら近所だからというのはちょっと話が違う。

>ではどのように分けたいですか。3丁目も4丁目も皆八木原小にするわけですか。

>数によってはそうするしかないですよ。亀崎の方もフォローして。

>そのためにはデータがやっぱり必要で、兄弟配慮になった時にどれくらいの数になるのか、そのデータでなるべくそういう不利益が通らないようにしたいな、というのがこちらの心情でもあるのでデータがあれば。

>子どもがたくさんいるからそっちに、という風に考えた方が良いですよ。家庭を考慮する必要は全くないということですね。

>でも、兄弟配慮があればある程度期間は切れるわけであって、3丁目2丁目で兄弟配慮があってそれで移りました。じゃあどれくらいの教室数をかけて南小になるのでしょうか。それは感情的な部分と言え3丁目もそうでしょうけど、我々2丁目も散々その苦しい思いをしてきたわけであってですね、感情的な部分を考えるのであれば2丁目は良いんだ、3丁目は駄目なんだ、というのはそれはおかしい。やっぱり数字が出て兄弟配慮があって、もしかしたら兄弟配慮があれば3丁目と2丁目、ちょうど人数的にはいいかもしれないというのがあります。だからやっぱりデータを見てみないと何とも言えないというのが正直なところですよ。

(質問・意見32 堀田委員)

確かに地区を増やせば簡単ですけど、そうすると学校の目の前を、という話になる。けど地図見てみるともねの里2丁目の一部も、直接学校は見ないにしても一応南小を通過して行く方面じゃないですかね、対象の部分は。なので、遠巻きに南小を見ながら八木原に行くという気持ちでは似たようなものかなと思うんです。本当にただ目の前を歩いていく、例えばもねの里6丁目とかもねの里5丁目はちょっと厳しいかもしれません。あと古

くから通っている地域なのでちょっと心情的にも難しいかもしれません。人数も少ないですけど長岡地区とかも直接小学校を見ずに八木原小に通学することは可能ですね。この黄色いところの地区だけにこだわる必要はない。ただどこもかしこもというと確かに南小全部がびっくりするかなと思うんですけど。数名なので何とも言えないんですけども、6丁目とかこの先例えば開発される可能性がそこにあるのならば入れる必要があるし、例えば10年先がわからないというのであれば10年先のデータは説明会に出さない方が良いのでは。今ここに私たちの手元には届いてしまっている。これを見るとどうしても気になってしまう。なのでここまでしか予測ができない、この時点では仮校舎は作れない状況で、そのつもりですという風に持っていかないと、心情的にこの地区だけじゃなくてもっと増やせばいいんじゃないのという気持ちになる。なので、きちんとした数字で6年先までが仮校舎を建てないと言っていますよ、ということを説明できるようにしてあげないと、地域の方は納得しないんじゃないかな。

(質問・意見33 橋口委員)

学区編制に関してはやっぱり地域の人たちの理解と協力がどうしても必要になってくると思う。ですから目先のことだけじゃなくて、今こう考えてますよというのがやはり何年か後くらいまではきちんと説明してあげないとやっぱり納得されないことがある。ですからある程度の10年先がなければ5年後までのこととか、それから仮校舎を造る造らない、いろいろあるんですけども、今はこういう状況だから造れないよ、こうだよっていうのはある程度やはり説明をしていただいて、地域の人にある程度納得ができるような状況であればいい。ただ、今いろいろな疑問が出た中から、一つだけでもいいので、説明とか資料とかを出してあげないとちょっと難しいのかなというような感じもします。以上です。

(水野会長)

保護者の感情論がいっぱい出てくるとは思うのですが、先程から出ているばつと広げて編制をやって南小の目の前も対象にするということになったら、今仰ったようなその前に暮らす方たちの反発の方が大きいのではと思う。

>それはそう思います。でも我々も同じことをやられたということ、皆さんに覚えておいてもらいたいと思います。自治会長の立場でいろいろな住民から意見が来た。それくらい熱くなる問題なので、ちゃんとした説明をしてほしい。仮設校舎も建てない前提で学区再編と決まっても、6年後はそれが覆りますよとなってしまふ。というのはなんで学区再編となったのか特別教室が必要だから、それと、なんで仮設校舎を建ててるのか、それも特別教室が必要だから、と同じ理屈が通ってしまう。もう作らないなら作らないこと統一ラインにしないと、やはり、その対象となった住民はどうしたって納得はできないと思います。

>特別教室を何年か後も確実に確保する、絶対仮設校舎を作らないとは明言できない。

>それはそうですけど、一応我々の基本のラインとしては、今後も仮設校舎は作らない、

学区再編一本で行きましょう、というのを審議委員としては最初の段階で学区再編が基本ラインになったということは、これは私としては今後もずっと学区再編の一本でいきましょうということかなと思いました。それは皆さん、どうなんでしょうか。6年後に仮設校舎が建つかも知れないことも含めて、学区再編しようと思ったのでしょうか。

>南小では校舎を建てるだけの土地がない。そこで校舎を建てても、今度は子どもさん達としてはますます狭くなってくるから、それで危険性が増してくるから、それはあんまり考えない。当初はね、そういうことも考えましたよ色々。ただ偉くお金がかかることもある。それはなるべく避けてやりましょうよ。学区編制して、なるべく現状でいって、地区改造してやりましょうよと。方向性が少し変わってきた訳ですよ。それからまた校舎を建てるという問題が出てきてしまって、これは本当は違うのかなとは思っているんですけども。例えば6年でまた学区編制するかもしれない。でもそれは、どういう形になって子どもさんたちが増えていくかわからない。けれども現状なら、ここだけやってくると今後少し抑えられる部分があるんじゃないかという説明。それからまた後でこの辺の方も視野に入れていきますよという。そういう風にやってかないと、3丁目も4丁目も皆こっちだと言っても、さっき言ったように向こうの方に住居が建つか建たないか何も見通しがありませんからね。

>私たちは、学区編制をすればできるだけ仮設校舎を建てることがない、というスタンスで考えてきた。10年先、20年先のことはわからない。ただ今、現状としては、仮設校舎をできるだけ建てないような方向として、学区編制を考えました、という方向で説明した方がいいのかなと。

(質問・意見34 古川委員)

10年後にはまたクラスが必要になる。15年後にはまた建てる必要があるという予想がついている。その数年間をどうするのかといったことで、市内の近くの施設に公民館などがありますので、例えばですけど家庭科とか音楽室とかは公民館の施設を利用するというような、市が持っている物を活用する方向で考えていければいいのでは。わかりませんがそういう考え方もありかな。そんなに遠い距離でもないですし、安全性の面でも考えて。もう南小の敷地の中を考えてみると無理なことは明らかなので、他の方法も少し視野に入れて考えた方がいいんじゃないかと。

>スタンスとしては、何年か先までは今学区編制すると、我々の考えだと仮設校舎を作らなくても済みそうだからということで考えた。質問として10年先は校舎を建てるかどうかははっきり言ってそこまでは答えられない。そういうことでいきたいと思います。

>すみません。よろしいですか。先程5年後はとりあえずそういうことで、その先についてはまた考えていく。ここも次の学区編制の対象になる可能性もあるよ、という中に一つ加えたいのは、高層住宅マンションが建つという話。市の関係課の方に確認したら、そういう話はないということですが、この先5年、10年後にはある可能性もありますので、そ

ういう高層マンションが6丁目とか、5丁目にできた場合は、南小にはもう行けないと思う。そこは八木原小学区にするなどを視野に入れといた方がいいのかなと思います。

>説明会の時にですね。

>そういうことを一言でも言っておいてもらえれば、やっぱり我々だけじゃないんだ、となる。絶対必要じゃないかと。何故2丁目だけなのかというのは、学校の目の前通らないと言いますが、道路挟んで反対側も2丁目ですし、昔から物井に住んでいてここは南小だという方だってあの辺に住んでいます。そういう方はやっぱり納得できない人だっていると思うんですよ。南小を飛び越えて行かなきゃいけないことになる。だから、やっぱりそういう納得できない方もいるので、その方達を納得できる説明・見通しは用意しておかないと。結局また同じことを蒸し返してしまう。その説明会もまた、厳しい意見が飛び交うようになってしまうんじゃないかなと思います。

>距離的に言うとそんなに変わらないね。Big Aの近くのあの辺の一角は、当然南小の方に近いでしょうけど、ちょっと奥に入ると八木原の方が近い。

>交番の向かい、ファミリーマートの辺りの方は綺麗な道があります。工事中ですけどあれが綺麗になれば、安全で近くになると思う。ただ私、サントク寄りなんですけど、サントク寄りの2丁目の人間は南小の方が近い。ただ、決して通えない距離ではないとは思いますが。でもその距離だけのことを言うと、3丁目だって同じ位の距離なのに、とまた感情的になってしまうので何とも言えないんですけども。さっきも言われたように、仮校舎は私たちの考えられる可能性では建てない、建てられないと思います、と。その状態で今の状況だと、ここまでを再編しなければパンクしてしまいますよ、と。5年先10年先は、また審議会なのか説明会なのかはわかりませんが、もしかして予想以上に人口が増えなければこの状態でいく訳ですし、また5年先爆発的に、しかも他地域が増えてしまった場合は、また再編予定の地域を考え直す可能性もあるよ、ということを少し説明の中に加えて頂ければ。今、再編される人間も多少、納得までいかないにしても、動かされるのは自分たちだけじゃないんだ、という風にはなると思う。まだわからない、増えなければ再編しなくていい、この予想よりはるかに増える状況になって、それが再編された地区ではない場所になった場合は、その時また5、6年後考えなければならぬ、という風に、説明の中に加えて頂くしかないかと。確かに5年10年先はわからない。

>どういう風なラインを引くかを決めないと。第一段階のラインはこう、第二段階のラインはこの地区になりますよ、というのを決めておかないと。

>そうですね、第二段階とかここで決めてしまうか、この審議会は5、6年先までの第一段階だけの線引きをするのか、よくわからないんですけど。もし第一段階が溢れそうになったら第二段階のことを考えていく必要がある、ならば、もうそこも第一段階に入れるべきではないかと思う。そのために数字的なことがやっぱりほしいんです。今の段階で3丁目や4丁目まで再編の対象にしなくても、教室数は確保できるんですよ。

>何年くらいまでかによりますかね。

>5年、6年くらい。そうすると、そこまでしかこの審議会ではやらない。

>そういうことなんですね。次のことまで考える必要はないと思います。

>ただ、その先その可能性があることを少しお伝えしないと。これでおしまいではないですよ、と言ったらまだ聞きやすい。

>その時の言論によって教育委員会さんがどう考えるかによる。5年後、6年後のことを、この審議会でするのか、ということは話す必要はないと思うんです。

>そうですね。なので、5年先までを見通して仮設校舎を建てない前提で再編優先で。

>仮設校舎を建てない方法を使って考えましたと。そうすると大体5年くらい先まで仮校舎を建てない前提で考えて、学区編制会議で考えて答えを出しました、ということで説明会に臨んでいければと。

>あとはさっき私が言った、兄弟配慮の数字的なデータは絶対活かさないと納得がいかないと思う。どれだけの人が移れば、確かに大丈夫だよというデータを。見て地域の方が納得して頂ける物を出してもらわないとですね。

>それは数年後くらいまでで。

>数年後で大丈夫です。

>10年も20年もということでは。

>それはもう本当にはないです。2年、せめて3年くらい。平成28年度に完全に新規の方が移るといので、平成27~28年度くらいが最低あれば、28年度我々が移れば、それだけ教室数を確保できるのか、はっきりデータとしてわかって、尚且つ将来的に家が建つところは、学区再編で南小じゃないこともありえますよ、ということと言われれば。ああ、将来的なことをちゃんと考えてくれて、データもあるんだね、というのは多少納得できます。仮設校舎とかそういう言葉がちょっとでも出ると凄く反応すると思いますし、特別教室が大事だと言っておきながら、特別教室を改修するということをやったら、とても反応が来ると思います。私もやっぱりそういう言葉が出ると、あれどっちなんだというのは凄気にするのであって、もう学区再編しました、仮設校舎という言葉も考えていません、特別教室を大事にして特別教室も今後は改修しない方向でいきます、と。データからして、もうこれはやっぱりもねの里2丁目だとして、2丁目地区がこれだけ移れば、やっぱり南小としても今の教室で維持できるんです、と。

>コスト掛けなければ、その費用は八木原の受け入れ態勢にも使える、とか。

>そうです。そういうことも仰って頂ければ。

>グラウンドだってあんなに広いグラウンドだし、子どもたちものびのびできる。そういうものあるんだよ、というプラスのことも伝えると、その方がやっぱり聴く方も良い。何年後かにでも、南小に仮設校舎を建てるのが当初の計画であって、申請すれば通っていた。ところが、それを止めて八木原の経費にする、と言え。また印象違いますよね。

>さっき仰ったように、平成29年くらいに大規模改修もありますよ、ということも併せて言っていただければ、ああやっぱり我々にも配慮はあるんですね、八木原小さん側の事情

もあるので、移動する側にも配慮してくれるんだっていうのは、誠意を感じるというかです。本当に、悩んで悩んで、配慮して配慮して、でもすいません、という形であれば、多分そんなに文句言う人もいないんじゃないかと。

>やっぱり我々としても八木原に移る側のことも考えなきゃいけない部分ですよ。

>もうだいぶ詰まってきたので確認をちょっとしたいんですけど。私、最初に申し上げたんですけれども、この住民説明会に使う資料として、南小の関係で言うととにかく教室が足りない。子どもたちがどんどん多くなっていく。次に今後の行程表の中に、コンピューター室の改修とか多目的室の改修とかあるんですけども。これは将来的に次のことですか、それともそれも一緒に抱きこんで提案するということでしょうか。これは原則ありえない話ですかね。

>パソコン室はいずれにしても潰さないといけないですよ。

>パソコン室はなくなるんですか。

>なくなるわけではなくて、今広い部屋なのを半分にして、半分残して半分教室に使う。

>ああ、そういうことですか。これだけ見ると、パソコン室がなくなるかと思いました。

>パソコン室は残ります。

>そういう風にいわゆる我々が一般的にこう見たら、こうなるとこうなりますよ、ということしか判断できない。委員が広い視野の中で、小出しできる物があるはずですよ。ただ基本原則としては、本来的にはコンピューター室の改修というのは、そういう理由なら可能だ、ということが保障できるのかもしれない。多目的室の場合についてはもっと発展した形、教室が足りなくなってきたのでなくす。本来的には学区を考える時に、そういうマイナス材料も出していくことも大事だと思います。現状は変わらない、南小学校自体は変わらないんだよ。ただ、今後のこととなると学区の問題を考える必要がある。そういう提案をしていかないと。南小が犠牲になってくれよでは納得いかない。その辺だけ確認したかったんです。ですから、どういう資料を準備するかも大事ですけど、これはもう教育委員会等が動く。基本的な確認をしていきたいなという風に思います。そうしないとイエス、ノーの判断をと言われましたけど、なかなか言えませんよ。それでもまだ、ちょっと納得いかないんですけど、そういう風な感想を持っています。

(事務局 高野教育部長)

すみません、兄弟関係のデータの確認ですけども、今の6年生は別として、1年生から5年生までの在校生で向こう2年間、兄弟が上がってくる子がどれくらいいるか、というデータで良いですか。

>そうですね。そのデータプラス2丁目全体が、南小に入る人が何人でそのうち兄弟関係のある人が何人、というのがわかれば、例えば平成27年度スタートから学区が変わりますよ、となった時には八木原小に行かなきゃならない子が何人、南小に残る子が何人というのがパッと見てわかるデータですね。

>残留希望した場合に。

>そう、残留希望した場合に。つまり本来は何人が南にいるはずが、何人八木原に移るのか。

>マックスの場合は、八木原でそれだけ受け入れますよ、という向こう 2 年であれば、今の兄弟の下の 5 歳、6 歳か、そこまででいいですね。

>それでもいいので、とりあえず数字として。多分イメージとして 2 丁目は兄弟配慮が多いのではと私も思っていますし、他に住んでいる方も思っていると思うので、我々移ったのに全然変わらないじゃないかと言われた時に、いやこういうデータがあって、変わらないと思っていた兄弟配慮の家は例えば 5 人です。でも第一子の人 10 何人です。やっぱりこれだけ移れば変わるんですよ、というようなデータとして示せば、私が直接訊かれた時も説明しやすいですし、言われた方も納得する気がする。

>10 人違ったら、学級が変わりますよね。

>そうです。実際にその人たち全員行ったら、何人で何学級、でもその人たちが行かないことで何人で 2 学級で済みますよ、というデータがちゃんとあるのであれば、ああやっぱり他へ移らなきゃならないのかな、というのがデータを見てもはっきりわかると思う。だから、何を言われるよりデータを見せられたら、何も言えなくなるかなと。

(水野会長)

ちょっと話がわからないんですけれども、27 年は先程のお話ですと、親御さんの意向によると思うんですけども、兄弟がいる子は何人、いない子が何人というのは出せると思うんですよ。ただ、兄弟がいない子でも、来年度は南小行きたいと思う方もいらっしゃるかもしれない。八木原へ行きたいという方もいらっしゃる。その数字はわからない。だから、わかるのは兄弟関係だけです。28 年度は今の年中さんですけど、年中さんの年代は兄弟がいない子は何人いて八木原小へ行く。兄弟関係がいるのは何人と数字を出す。

>そのデータが出て、結局我々が移ってもクラス数が変わらないじゃないか、というデータが出てしまったら、説明のしようがなくなっちゃいますよね。だから、その時はその時でまた、どう説明するのか考えなきゃならない。一番良いのは、その 10 何人が移ることで 3 学級が 2 学級になります。やっぱり編制するのが一番良いです、というデータが、実際どうなるかわからないんですけど、そういうデータであれば多分、説明会で説明をすれば、感情的な意見も出るでしょうけど、データとしては納得せざるを得ないのでは。ただ、そのデータが出されても全く何も状況として変わらないようだと、ちょっとどうなるか、やっぱりもう 1 度検討しなきゃならないんじゃないの、というのは、当然出てきますよね。

(事務局 高野教育部長)

資料の口は皆さんお持ちですよ。編制しない場合・する場合の数値。C、真ん中が 27 年 4 月から学級編制した場合で、その下が 28 年 4 月からなんですけど、これを見るとだい

ぶ違うんでうよね、この1年間の差は。数も1年間ずれた時にこれだけ違ってくるとい
データがある。これはちょっとご理解頂いて。この1年でけっこう対応も厳しくなっ
てくるのかなという現実があります。

>これ1学年で今は何人が最高なんですか。

>1、2年は35人。

>学校としての最高人数というのは。小学校は1学級何人か。

>学年によって、違うんですけどね。1、2年が35人。3年以上は、国の基準だと40人。

>そうすると、例えば15人でも、20人でもやると3クラスが、2クラスになるってことも
ある。

>1年生、2年生は76人ですから3クラス。ところが3年生になった時には、上限40人に
なっていますから2クラスで済む。だから1、2年生は3クラスでも、3年はたった2クラ
スという展開になる。

>教室は必ずマックス40人で対応できるように造っている。特に南小は広いですから。

(質問・意見35 梅山委員)

いろいろな話が出てきた。データが必要なら教育委員会の方で納得できるデータを出し
て頂いて、平成36年度にはこんなに児童が増えるんだということも、しっかりしたデー
タがないことには何とも言えませんので。なるべく正しいデータを。

>現在はこの10年後先のはこのデータしかない。

>兄弟関係のデータが不足なので、そちらは調べて提供できます。

(水野会長)

ちょっとまとめてみたいと思います。学区編制はする、ということ。配慮するところは
兄弟関係、現在南小に在籍している生徒の兄弟の場合は、南小に入ってもオーケー。ただ
し、兄弟が現在5年生である・下にも兄弟がいる等で、八木原に行ってもかまわないとい
うこと。来年平成27年度の場合、新一年生は兄弟関係がいる場合は南小でも八木原小でも
いい。いない場合はなるべく八木原小だが、特別な事情がある場合は南小でもかまわない。
28年度になったら兄弟がいない場合は新入生は八木原小ということですね。

>上の子が南にいて、下の子もまだいる真ん中の子が入る時、南もいいよとしてしまうと、
下の子だけが八木原小になって、上の子が卒業したら結局バラバラになる。小っちゃい子
だけになる。ならもう28年度にバッサリ線を引いてしまうのは。

>年度関係なくせいぜい6年か1年だから、その方が続いたとしてもそんな人数もない
し何年もない。大体離れていると言っても2~4歳。

>未就学が1人の場合はいい。ただこれから入学の兄弟2人いる場合は、来年度南小に行
きました。でも2年後に下の子は南小に行きたくても行けない。八木原に行く。バラバラ
になる。

>違いますよね。26年度に例えば1年生の子が入ってますよね。その子に0歳の弟妹がいて、年が進んでその赤ちゃんだった子が入る時は、もう平成30年近くになっています。その子は兄弟配慮の対象にはならない、ということになりますか。

>6年生に上の子がいればなるのでは。

>いや、上の子が1年生で入った時に、選択肢を設けて何年後かにどのみち子どもがもう1人入ってくるなら、じゃあもう上の子の時から八木原に行ってくださいよ、と。そういうことにしない限り人数は減らないのでは。現在上の子どもさん1年生から6年生まで南小にいる子、これは優先的。来年度から入る子は、余裕期間を設けるのでどっちに入ってもいいけども、次、下に子どもがいる場合それは28年度からは八木原に行ってもらおう。

>そうならないですよ。そこで繋がることはほぼないですし、年々総数はどんどん減っていくので自然消滅しますよね。

>28年度で全員スパーンと引いてしまうと、結局お兄ちゃんが南小、弟が八木原小になっちゃうわけですよ。上にいる子は南小でいいんですよ。だからいない子についてだけですよね、28年度八木原小に行くのは。

>初めての入学の子はもう八木原に行ってもらおうけども、上に兄弟がいる子は28年度の場合も選択できる。

>新1年生のことを言っているんですよ。

>兄弟がいなければ八木原小。27年度の時点で28年度に入学する子がいたら、27年度のそういった子も八木原に移動してもらって、二人とも八木原に決まっていればいいわけでしょう。

>久保木副会長の仰りたいのは、もしかして27年度に第1子で1年生、南小に入りました。その子が入っているからって28年度の年子とか、その先の子が兄弟配慮で南小というのは駄目ですよ、ということですよ。わかりました。

>それはちゃんと説明しておかないと。

>そういうことですよ。じゃないと区切った意味が何にもないわけですよ。28年度に学区が変わるんだ、それには意味があって、だから年子の場合でも、だったら最初から八木原に決まってしまう八木原小に行くんだよ、とそういう風に家族に計画してほしい。そういうお願いをしていかないと、未就学兄弟が5人も6人もいたら、ずっと続くわけですよ。それが何家族もいたらいつになっても南が減らない。だからどこかで厳しめのラインを引かないと絶対駄目。今南小にいるお子さんの兄弟については、自動的に今1年生であれば、来年また入りますから自動的にそれは南小で良い。

>平成27年度に第1子の方が南小を選ぶ可能性はかなり低いということですね。

>そうです。

>そういう風にお話ししないと、27年度に年子とかで勘違いで入るとか、おうちの方が凄くわかりにくいので、26年度まで在籍している兄弟がいる場合、その兄弟は配慮できますが、27年度から入学する子に対する兄弟配慮はない、ということをきちんと説明しておかないと。完全な線引きは28年度ですけど、実質27年度から再編は始まっていることを理

解してもらえないようにしないと。ちょうどその世代が正直今の時点での再編対象が多いと思いますので、きちんと説明してあげないと。

>それもきちんと理解してもらわないと、1年生が繋がっていつちやうんで。兄弟なら何でもいい、では区切りようがない。27年度はどっちに行ってもいいけど将来のことを考えたら八木原に行った方が良く。年子3人いたら、3人バラバラになるのが嫌だったら、初めから八木原に行って3人とも八木原に行ってもら。そうしないと人数も減らない。

>ちゃんと説明していただくのと、何故そうなのかと言われた時にちゃんと返答していただかないと。それは何故そうなのか、実際平成27年度から学区再編は始まっているけれども、急だから既に南に兄弟がいる方は猶予のための選択は得られる、でも学区再編は始まっているからこの時に入った1年生は、その後の兄弟猶予の対象には入りませんよ、という説明をしていただかないと。やっぱり本当にもうちょっとしたこと凄いで、お願いしたいということです。

>じゃあやっぱり厳しく区切っておかないと、さっき言ったようにだらだらと繋がってしまうので、それは理解していただきたいなと思います。

(質問・意見36 梅山委員)

高層マンションというのは本当に建てるんですか。

>わからない。

>じゃあ、あと配慮することは、今の兄弟関係のこと以外では。

>まだ範囲のことは言っていないんですね、どこが対象か。

>それはまだそこまではいってないので。

>さっきのことをまとめると、兄弟関係の件について言うと第1子の来年度実施からもう再編が始まるんだ、28年度からの厳しい線引きに意味合いがある。その意味合いを勘違いしないでほしい。この2つが今皆さんに確認取らないと。これからの学区のラインをどうするかが一番の問題だと思うんですね、どういう形で行くのか。今年度から来年度まではこういう形、それ以降もしあった時ここまで入りますよという案を、まず作っておかないと。後から説明した時に、前に説明した時にここまでこうだけど、もしこうなったらこうなりますよと説明しました、という報告がしっかりできるようにしておきたいなと思う。

(水野会長)

兄弟関係のことで、教育委員会さんの方でデータを出して頂いて、それが出ないと話がわからないかな、ということが正直あるかもしれないですが、ある程度の案を、いよいよどこを対象地区とするか、をちょっとここで話をしたいと思います。先程からいろいろ出ましたけれども、地図を見ないとわかりませんので、皆さんもしお持ちでしたら、第1回目に渡したと思うんですけども、資料のナンバー1を見て頂きたい。教育委員会さんの方から黄色で囲ったところを配布しておりますが、先程お話いろいろ出ていまして、南小の

将来がわからないということで、実際学区を作ってしまった方が良いんじゃないかという話が出ているわけですがいかがでしょうか。私などは6丁目まで入れてもいいのではと思うんですけども。

>私もそう思います。

>皆さん方の話によると5丁目辺りは、ここでは出さなくていいと思うんですけども、将来的にはひょっとしたら考えることもあり得るとのこと。ただしその時はまた学区審議会を開くことになると思います。今のところ6丁目まで進んでいるようなことで、将来的には南小の生徒数、分譲の具合によってどうなるかわかりませんので、将来5丁目かひょっとしたらというところ。八木原の方に行くかどうか次の学区審議会が開かれることになると思う。絶対にもねの里5丁目か南小だという保証はない。

>視野の中に入れとおくということでやっておいた方が、次回の審議会があった時に過去にこういうことでこういう視野も含めて考えてありましたよ、というのを答申書に作っておけば、すぐ書いてすぐ説明する時に前もって入りやすいし、こういう経緯があつて八木原に行くんだという説明ができるし、もめることもない気もする。できればそういう形を採りたいと思います。

>先程の話じゃないですけど、マンションがもし建った場合、その学区はもう八木原小ですよという風に出した方が良い気がしますので、そうしておいてもいいのではと思います。まず茶屋の作、栗山の一部、もねの里1、2、6丁目は審議会です。

>私、あの住民感情が変わっているのかもわからないんですけども、茶屋の作、栗山、長岡、これは南小の方が私は過去の経緯から言って良い気がする。だから、もねの里を全部入れる、というのはどうでしょう。

>茶屋の作は八木原の方が断然近いんですよ。

>近いとかそういう感覚ではなくて。

>新しく奥の道ができて、新しい住居が増える可能性がある。それで建った時には八木原に入れといた方がいんじゃないか、そういう意味です。

>そうですか。栗山もそうですか。

>そうです。栗山の一部ですが、そうです。

>菊地委員の話ですけどね、従来は南小学校なんですけど、現在通っている子が少ないってということで、この地区は八木原に入ってもそんなに不都合はないだろうということですね。

>長岡も元々少ないということですね。

>そうですね。

>長岡は今は4人ですね。それも駅の方なんですよ。工業団地の方。今のところ、長岡は別に視野に入れなくてもいいと思う。

>もねの里6丁目も。

>これから2丁目と6丁目が開発される。6丁目は商業地とかになっている。その辺は我々にもわからないので、でもその辺りも入れといた方が良い。

(質問・意見 37 清水委員)

もし教育委員会さんが用意したデータで、兄弟配慮があつて2丁目の方たちが移つても、結局教室数は変わらないですよ、3教室になっちゃいますというデータが出てしまった時に、どうやって説明するかをちゃんと考えていただかないと。どうしてウチが移つたのに結局変わらないじゃないか、と言われてしまう。その説明は今からやっぱりしっかり考えといていただかないと困るなど。

>だからそれは今後、計算すると大体出てくる。

>そうなんですよ、ただもう既に教室が足りない状態になのに、何でウチが移つたのに変わらないだと言われたら、明確な答えを返さないと住民は絶対納得しないですよ。明らかに10何人移れば3クラスが2クラスに減りますよ、というデータが出るのであれば全然問題ないと思うし、それで説明すれば良いと思うんですけど、そういうデータが仮に出なかった場合は、どう説明するかというところをちゃんと考えといておかないと。多分、そこを住民は突いてきて、凄く詰め寄ってくると思います。

>今年減るとなると17人ですよ。17人が減るということは2クラスになるのでは。

>ただ、それはあくまでも今年のデータであつてその年によって違う。

>そうそう。でも今からやらないとやっぱり先行きが見えている。

>それはわかるんですけど、どうしてウチなの、と言われた時に、そのデータで説明をすれば、とりあえずちゃんとした理由はあるんですけど、その説明するデータもなく来ました、じゃあ何て言つて説明するか。将来的なことでの対策と言つたら、なら他でも良いじゃないか、と言われるかもしれないですよ。先程出ていたような。

>もし教育委員会さんにデータ準備してもらつて、例えば数字で言うと90人、移動する人が20人、70人だったら2クラスになれば良いけど、15人だったら75人になってやはり3クラス、という結果が今の時点で出てしまったのであれば、やっぱりもう一度臨時の審議会を開いてどうあるべきか考えるべきではないですかね。

>そこの説明ができないと、これで行きましようとは言えないんじゃないかと。でもちゃんとそういうデータが出て明確な説明ができるのであれば別にいいと思います。

>それは説明できないとなつたら、もう一回考え直さないといけないんじゃないかと。データを出すのにどれくらいかかるのかと、その説明会そのものもいつ開く予定なのかとかもまだ決まっていないですよ。この3回の後、4回が行われるまでに説明会をするとなると、データを基に説明というのはちょっと厳しくなる。でも早くデータを出してそうしないといけない。例えば、9月の最終決定まで待つてから説明会を開くのであれば、データのことも揃えられる。

>答申案を8月に出すということはその段階で載っているわけで、それを知ればなんでもらう、となる人は出てくる。

>答申案は今日出す。最終答申を8月に出す。

>それまでにはちゃんと説明できる材料がないと。突っ込んで来られる方もいるでしょう。

>それはちゃんと作ってくれるでしょう。

>今日出す案としては、茶屋の作、栗山、もねの里 1、2、6 丁目での学区編制をする、兄弟関係はどうなっているかというデータを出してもらって、8月が最終なのでその時に結果も含めて結論を出す。今の段階ではまだ案であって、そのデータを見てからでない、はっきり言えないということではよろしいですか。

>結論が出ないとしても、来年度入学からはやらないといけない。

>そうすると、今までやったことが全て覆ってしまいますね。そうならないためにも、データで説明できなかった時の説明を考えていかないと。

>説明会は教育委員会ではなく、学区審議会で行うので、ここの委員全員の気持ちを合わせておかないと。

>次回でデータが出た際、そのデータで説明ができそうにない場合、会議を開いて会長と相談しながら返答を決めていけばいいのでは。

>実はそこまでしなくても、どうしても距離の関係でそうってしまった、誠に申し訳ないがお願いしたいと頭を下げる、という方法もある。データではこうでしたが、でも将来的なことを考えると移ってもらうしかなかった、本当に申し訳ありませんがご協力お願いします、といったような、誠意を持ってお願いするというのが今までなかったと思うので。データで説明できればそれでいいんですが、そうでなくても編制するしかない。それなら変に取り繕うのではなくて、申し訳ないけどお願いします。いろいろ言いたいことはあると思うけど、もうそれしか方法ない、ということで納得頂く。

>実はこれまであった審議会ではこんなに白熱することはなかった。もちろん、議論はあったがそのうち段々としょうがないね、となっていた。お願いする身なので頭も下げますよ。

>それはわかりますけど、やっぱり受け手としてはそう感じられないところもあったかなと。過去を振り返ると、説明会では「この人、こんなきつい口調で意見言うんだ」というくらいなので、そういう事態を想定するのであれば、距離が近い、八木原も 29 年度大規模改修するので見捨てるわけじゃない、一ヶ所だけ移る訳ではない、そういったことを伝えてからお願いする、そうすれば会議を開いて対策を練るまでもないと思う。

>データによってまたそれも決めるということで。学区編制はする、対象は先程の箇所、ただ 5 丁目に関しては現在はそうでないけど、将来的に可能性がある、ということだけ挙げておく。これで答申案を作りたいと思います。

(水野会長)

それでは大体答申案ができました。今後、答申として副会長と相談しながらまとめていきます。作成に関しては私に一任していただく形でよろしいでしょうか。

>異議なし。

(水野会長)

それでは次回、8月の委員会で皆さまに作成した答申を確認していただき、良ければ承認していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。最後に事務局からお願いします。

(事務局 安江学務課主幹)

水野会長からお話ありました通り、本日の案を基に答申をまとめて頂きいただき、次回8月の第3回、通算4回目の審議会で承認して頂き、教育委員会の方に提出して頂ければと思います。時期として、次回の審議会を8月7日(木)14時からとさせていただきます。

答申を受けて、事務局としては今後の案を作成して、8月下旬から9月下旬にかけてパブコメを行い、並行して説明会を開催します。そこで出された意見等を受け、10月末には最終決定ということで答申として出させていただきます。決定した答申は市政だよりやホームページを通して広報いたします。

・閉会、中嶋学務課長より今後の日程説明

会議録署名人 水野 和年

会議録署名人 久保木 利雄